

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年11月14日

【四半期会計期間】 第75期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

【会社名】 森下仁丹株式会社

【英訳名】 MORISHITA JINTAN CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 駒村純一

【本店の所在の場所】 大阪府中央区玉造一丁目2番40号

【電話番号】 06(6761)1131(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員 武貞文隆

【最寄りの連絡場所】 大阪府中央区玉造一丁目2番40号

【電話番号】 06(6761)1131(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員 武貞文隆

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社大阪証券取引所
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第74期 第2四半期 連結累計期間	第75期 第2四半期 連結累計期間	第74期
会計期間		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(百万円)	3,713	4,164	7,732
経常利益又は経常損失()	(百万円)	88	173	104
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失()	(百万円)	88	186	79
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	100	243	19
純資産額	(百万円)	7,115	7,426	7,234
総資産額	(百万円)	10,446	10,701	10,415
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は四半期純損失金額()	(円)	4.35	9.16	3.90
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	68.1	69.4	69.5
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	28	534	413
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	99	129	215
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	160	100	221
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	1,476	1,988	1,685

回次		第74期 第2四半期 連結会計期間	第75期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()	(円)	0.62	3.57

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税)は含まれておりません。
- 3 第74期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による様々な影響がありましたが、サプライチェーンの早期正常化や地デジの駆け込み需要などから個人消費にも持ち直しの兆しが見られました。しかしながら国内では本格的な復興や電力問題など課題が多く、海外では欧米諸国の財政問題に端を発する世界経済の減速懸念や為替相場の高止まりなどにより、景気の先行きには依然として不透明感が強まっております。当社グループの属する健康関連業界も、中高年を主体とした健康意識の高まりが持続しているものの、消費者の生活防衛意識による価格選好意識の高まりや異業種を含む大手企業の新規参入など当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループとしてはヘルスケア事業並びにカプセル受託事業の各々の事業において積極的な諸施策・諸活動を展開してまいりました。その結果、売上高は、4,164百万円と前年同四半期と比べ451百万円（12.1%）増収となりました。

利益面においては生産効率の向上による原価率の低減による粗利益の改善が大きく、効果的なプロモーション活動による経費の効率化が図れたことから営業利益は、162百万円と前年同四半期と比べ265百万円増益となりました。また、営業外損益では、研究開発の補助金収入がプラス要因となり経常利益は、173百万円と前年同四半期と比べ261百万円増益となり、四半期純利益は、186百万円と前年同四半期と比べ274百万円増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、主力商品「ビフィーナ」の売上高は前年同四半期と比べ約3割増と引き続き好調に推移いたしました。競合の激しい緑茶青汁他通販商品群が苦戦を強いられました。また、リテール分野では昨年より強化しているOTC医薬品や医療器具が好調に推移したこともあり、結果として売上高は、2,948百万円と前年同四半期と比べ286百万円（10.8%）増収となりました。

損益面では、製造原価のコストダウンと経費の効率的運用に徹したことによりセグメント利益は、36百万円と前年同四半期と比べ207百万円増益となりました。

カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、医薬品分野のカプセル受託は引き続き好調に推移し、さらに円高の影響を受けつつも受託先及び受託量の拡大に努力したことにより、売上高は、1,183百万円と前年同四半期と比べ164百万円（16.1%）増収となりました。

損益面では、製造原価のコストダウンに注力したことからセグメント利益は、138百万円と前年同四半期と比べ63百万円（84.7%）増益となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、10,701百万円と前連結会計年度末と比べ285百万円（2.7%）増加となりました。総資産の内訳は、流動資産が、3,918百万円と前連結会計年度末と比べ245百万円（6.7%）増加となり、固定資産が、6,782百万円と前連結会計年度末と比べ40百万円（0.6%）増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加であり、固定資産の増加の主な要因は所有株式の時価評価に伴う投資有価証券の増加によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、3,275百万円と前連結会計年度末と比べ93百万円（3.0%）増加となりました。負債の内訳は、流動負債が、1,763百万円と前連結会計年度末と比べ137百万円（8.4%）増加、固定負債が、1,511百万円と前連結会計年度末と比べ43百万円（2.8%）減少となりました。流動負債の増加の主な要因は、未払費用の増加であり、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金の約定返済によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、7,426百万円と前連結会計年度末と比べ191百万円（2.6%）増加となりました。これは利益剰余金の四半期純利益による増加186百万円と、配当による減少50百万円及びその他有価証券差額金の増加56百万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,988百万円となり、前連結会計年度末と比べ303百万円（18.0%）の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は534百万円（前年同四半期は28百万円の増加）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益199百万円、減価償却費206百万円と売上債権の減少66百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は129百万円（前年同四半期は99百万円の減少）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得130百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は100百万円(前年同四半期は160百万円の減少)となりました。その主な要因は、長期借入金の返済50百万円や配当金の支払50百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は249百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,750,000	20,750,000	東京証券取引所 (市場第二部) 大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数1,000株
計	20,750,000	20,750,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年9月30日	-	20,750,000	-	3,537	-	963

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
ロート製薬株式会社	大阪市生野区巽西1丁目8-1	4,025	19.4
株式会社森下泰山	大阪市中央区玉造1丁目2-40	3,226	15.5
財団法人森下仁丹奨学会	大阪市中央区玉造1丁目2-40	1,056	5.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7-1	660	3.2
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6-6	616	3.0
株式会社ラクサン	大阪市中央区南新町2丁目3-7	562	2.7
株式会社大正銀行	大阪市中央区今橋2丁目5-8	440	2.1
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都港区浜松町2丁目11-3	440	2.1
森下仁丹取引先持株会	大阪市中央区玉造1丁目2-40	252	1.2
フジモトHD株式会社	東京都千代田区内神田3丁目3-7	216	1.0
計		11,494	55.3

- (注) 1 財団法人森下仁丹奨学会は、学資の給付等の育英奨学事業を行っている財団であります。
2 上記のほか当社所有の自己株式402千株(1.9%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 402,000	-	単元株式数1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,188,000	20,188	同上
単元未満株式	普通株式 160,000	-	-
発行済株式総数	20,750,000	-	-
総株主の議決権	-	20,188	-

- (注) 「単元未満株式」欄には、証券保管振替機構名義の株式が300株含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 森下仁丹株式会社	大阪市中央区 1丁目2-40	402,000	-	402,000	1.9
計	-	402,000	-	402,000	1.9

2 【役員】の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,685	1,988
受取手形及び売掛金	881	815
商品及び製品	506	476
仕掛品	272	277
原材料及び貯蔵品	254	265
その他	80	102
貸倒引当金	7	7
流動資産合計	3,673	3,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,592	2,529
機械装置及び運搬具（純額）	648	634
土地	2,025	2,025
建設仮勘定	12	50
その他（純額）	200	215
有形固定資産合計	5,479	5,455
無形固定資産	169	155
投資その他の資産		
投資有価証券	922	989
その他	178	189
貸倒引当金	7	7
投資その他の資産合計	1,093	1,171
固定資産合計	6,742	6,782
資産合計	10,415	10,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	898	908
1年内返済予定の長期借入金	100	100
未払法人税等	30	17
賞与引当金	102	105
返品調整引当金	16	16
その他	478	616
流動負債合計	1,626	1,763
固定負債		
長期借入金	650	600
繰延税金負債	531	541
退職給付引当金	312	323
その他	60	46
固定負債合計	1,554	1,511
負債合計	3,181	3,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	963
利益剰余金	2,959	3,094
自己株式	132	133
株主資本合計	7,327	7,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	36
その他の包括利益累計額合計	92	36
純資産合計	7,234	7,426
負債純資産合計	10,415	10,701

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,713	4,164
売上原価	1,937	1,904
売上総利益	1,776	2,260
販売費及び一般管理費		
販売促進費	353	333
広告宣伝費	298	418
人件費	452	506
賞与引当金繰入額	58	60
退職給付引当金繰入額	16	20
貸倒引当金繰入額	4	4
その他	694	753
販売費及び一般管理費合計	1,878	2,097
営業利益又は営業損失()	102	162
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	7
研究開発補助金	17	12
その他	5	3
営業外収益合計	30	23
営業外費用		
支払利息	10	8
その他	6	4
営業外費用合計	16	13
経常利益又は経常損失()	88	173
特別利益		
投資有価証券売却益	18	-
販売権譲渡益	-	28
特別利益合計	18	28
特別損失		
固定資産処分損	0	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	-
その他	2	-
特別損失合計	4	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	74	199
法人税、住民税及び事業税	14	10
法人税等調整額	0	3
法人税等合計	14	13
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	88	186
四半期純利益又は四半期純損失()	88	186

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	88	186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	56
その他の包括利益合計	11	56
四半期包括利益	100	243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100	243

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	74	199
減価償却費	182	206
退職給付引当金の増減額(は減少)	14	10
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	0
返品調整引当金の増減額(は減少)	13	-
賞与引当金の増減額(は減少)	9	2
受取利息及び受取配当金	7	7
支払利息	10	8
投資有価証券売却損益(は益)	18	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	-
固定資産処分損益(は益)	0	1
売上債権の増減額(は増加)	96	66
たな卸資産の増減額(は増加)	26	14
仕入債務の増減額(は減少)	19	9
その他	35	46
小計	45	559
利息及び配当金の受取額	7	7
利息の支払額	10	8
法人税等の支払額	14	23
営業活動によるキャッシュ・フロー	28	534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	112	130
投資有価証券の取得による支出	3	3
投資有価証券の売却による収入	19	-
貸付けによる支出	32	0
補助金収入	36	24
その他	7	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	99	129
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	60	50
配当金の支払額	99	50
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	160	100
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	231	303
現金及び現金同等物の期首残高	1,708	1,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,476	1,988

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び預金	1,476百万円	1,988百万円
現金及び現金同等物	1,476百万円	1,988百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	101	5.00	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	50	2.50	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,662	1,018	3,680	32	3,713	-	3,713
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	127	127	127	-
計	2,662	1,018	3,680	160	3,841	127	3,713
セグメント利益又は損失()	170	74	95	6	102	-	102

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,948	1,183	4,131	32	4,164	-	4,164
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	120	120	120	-
計	2,948	1,183	4,131	153	4,285	120	4,164
セグメント利益又は損失()	36	138	174	11	162	-	162

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額()	4円35銭	9円16銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(百万円)	88	186
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(百万円)	88	186
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,352	20,348

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月8日

森下仁丹株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 石 黒 訓

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 生 越 栄 美 子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている森下仁丹株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、森下仁丹株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。